

(仮称) 地域公共交通再編実施計画のうちバス路線の再編案について

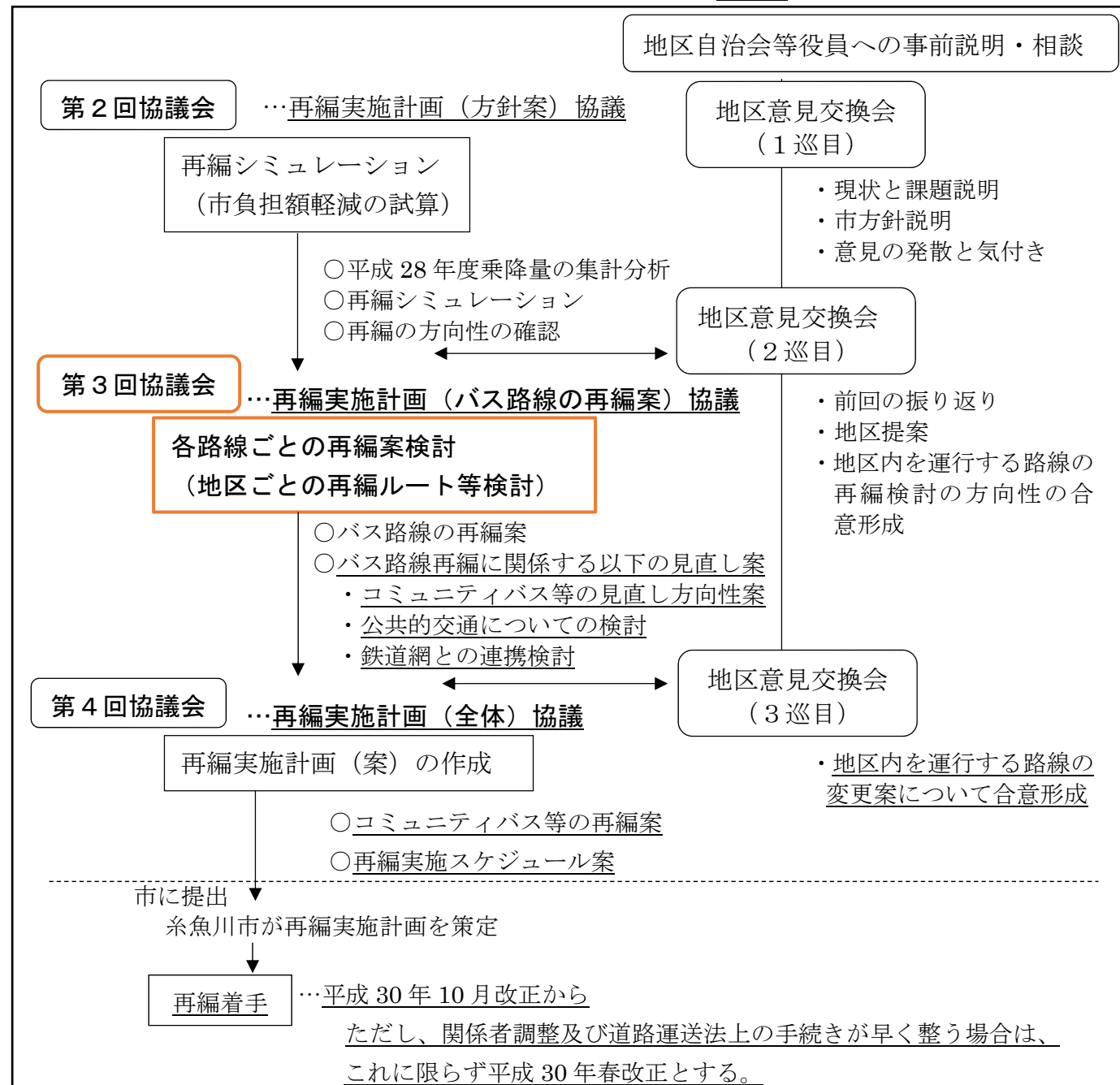
1. 地域公共交通の再編検討フローについて

地域公共交通の再編検討については、事務局での検討と合わせ、協議会での意見、地区意見交換会での住民からの意見を反映しながら、検討を進めていきます。

今回は以下の流れの中で、前回協議の方針案、地区意見交換会の意見を踏まえたバス路線の再編案について主に検討を行います。

地域公共交通の再編検討フロー

※下線部：前回資料からの変更・追記箇所



※ 再編実施計画の対象とする公共交通

本計画検討において対象とするのは、広域的な交通を担う鉄道、高速バス、都市間バス以外の糸魚川市内のバスネットワークである路線バス、コミュニティバス、乗合タクシー、公共的公共交通とします。

2. バス路線の再編案検討の基本的な考え方

○主な利用目的別の時間帯の設定

通学通勤利用の時間帯：バスの起点出発時刻が 8：30 以前及び 15：30 以降

＜理由＞朝は、小・中・高校への登校、市内企業等への出勤（日勤）を考慮し、夕方は、小学校低学年の下校時間以降を考慮した。

生活利用の時間帯：バスの起点出発時刻が 8：30～15：30 の間

＜理由＞通学通勤時間帯を除く時間帯とした。

○主な利用目的別の運行系統（経路）の設定方針

通学通勤利用：・鉄道利用を優先的に促し、駅までまたは駅間を路線バスで補完し、小・中・高校等の付近までつなぐ。

生活利用：・3地域内それぞれの移動を基本としたコンパクトな運行系統に再編し、現行の運行系統（経路）を「起点の集落から乗換拠点まで」に短縮する。

・地域間移動等は、乗換拠点での乗換によりつなぐ。

※ただし、青海地域は、衣料品や日用品等の買い物が地域内では困難であり、市街地に近いことから、青海地域乗換拠点を現段階では考慮せずバス路線の再編案を検討した。

また、中能生地区公民館（能生国保診療所前）での乗換については、コミュニティバスの再編案検討に合わせて地元等との協議が必要なことから、現段階では考慮せずバス路線の再編案を検討した。

○運行系統の集約

・1路線または近接エリア内に複数の運行系統がある場合は、経路のわかりづらさや運行頻度の低さの解消やコンパクトな運行系統への再編と合わせて、集約を行う。

○運行車両の小型化

・乗車人数が比較的少ない路線（通過人員の最大値が 15 人未満）については、運行車両の小型化を行う。

※15 人未満とは、運行事業者が導入を検討している小型車両の定員から設定した。

・優先度は、小型車両での運行が可能な便数の割合が高い路線からとする。

※最優先は、終日、小型車両での運行が可能な路線とする。

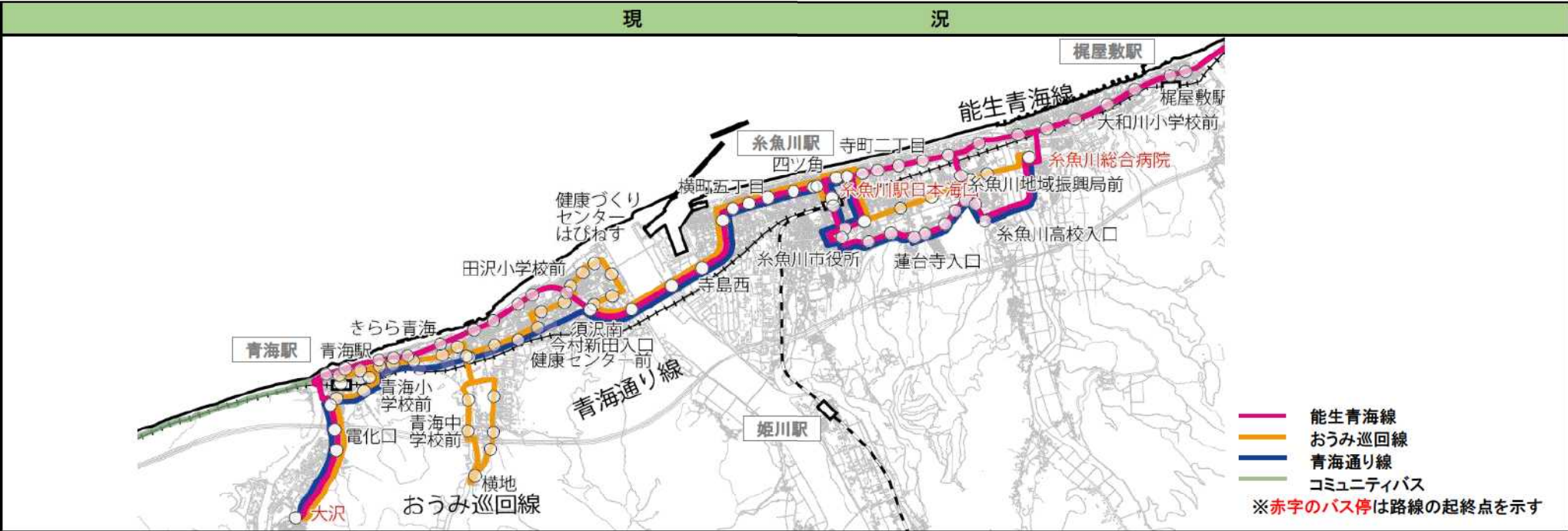
○運行便数の設定

・乗車人数が少ない路線については、子どもの通学と高齢者等の通院・買い物の最低限の用途を考慮したうえで運行便数の削減を検討し設定するが、次回の提案とする。

○地区意見交換会での意見の反映

・利用促進を前提とした地区意見については、反映に努めた。

1 能生青海線、2 おうみ巡回線、3 青海通り線



【現状と課題】

- 28年度概算収支率
 - ・能生青海線が58%、おうみ巡回線が37%、青海通り線が52%である。
- 28年度乗降量調査結果
 - ・能生青海線は、平日平均の最大値で18.7人で、朝の高校生の通学利用が多く、18:00過ぎの2便は1.0人を下回る。
 - ・おうみ巡回線は、平日平均の最大値が16.0人を筆頭に、15.8人、11.4人といずれも生活時間帯でコンスタントに利用が多い。
 - ・青海通り線は、平日平均の最大値で15.6人で、朝夕各1便で高校生の通学利用が多い。
- 運行ルート
 - ・3路線が似た経路を運行しているため競合関係にあり、運行系統も多くわかりづらい。

【地区からの意見（抜粋）】

- ・糸魚川高校、糸魚川白嶺高校に通う約150人をターゲットとした通学路線とダイヤを確保してほしい。
- ・利用が多い時間に絞ってよいので、（おうみ巡回線のように）各地区を回るバスを増やしてほしい。
- ・青海地域で並行する国道・県道・（市道）青海通りの中で「究極の選択」が必要となれば、真ん中の県道を路線として選ばざるをえないだろう。
- ・今の経路では、買い物ができる所が少ない。

◆ 運行便数（平成28年3月26日改正）
能生青海線 ※青海地域運行便数

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	6	13	5
8:30～13:00	9	2	9
13:00～15:30	9	7	5
15:30～			
計	24	22	19

◆ 参考：運行便数（平成29年4月1日改正）
能生青海線 ※青海地域運行便数

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	6	11	5
8:30～13:00	7	2	7
13:00～15:30	8	6	5
15:30～			
計	21	19	17

おうみ巡回線

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	1	4	
8:30～13:00	3		
13:00～15:30	1	1	
15:30～			
計	5	5	0

青海通り線

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	1	2	
8:30～13:00	4	3	
13:00～15:30	3	3	
15:30～			
計	8	8	0

青海通り線

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	1	2	
8:30～13:00	4	3	
13:00～15:30	4	4	
15:30～			
計	9	9	0

1 能生青海線、2 おうみ巡回線、3 青海通り線

【再編案】通学通勤時間帯

【路線バス再編(案)の内容、改善点】

- 運行ルート
 - ・糸魚川総合病院までとする。
 - ・おうみ巡回線以外は、糸魚川高校入口経由とする。



- (仮)青海糸魚川線
 - おうみ巡回線
 - 青海通り線
- ※赤字のバス停は路線の起終点を示す

【再編案】生活時間帯

【路線バス再編(案)の内容、改善点】

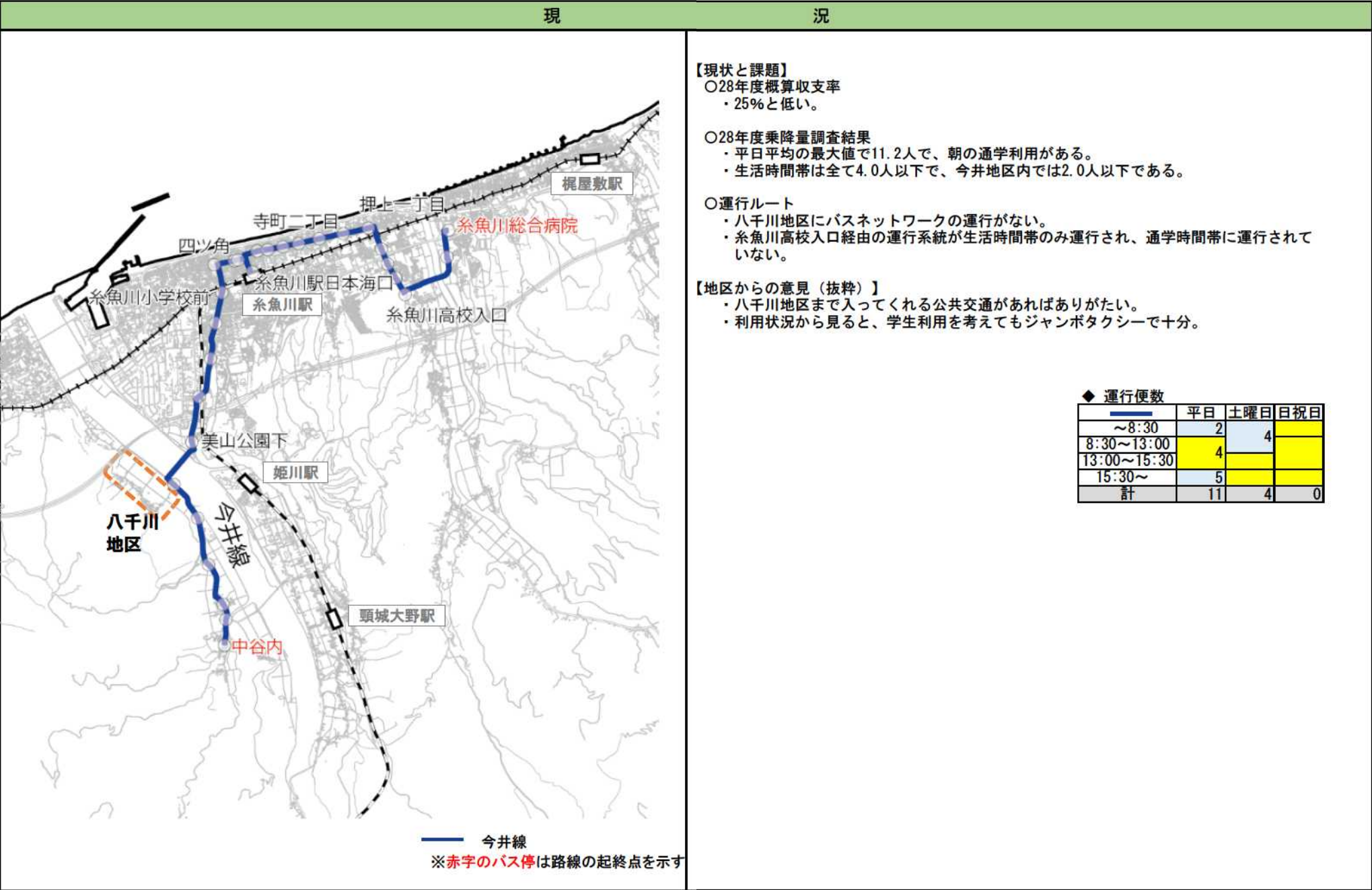
- 運行ルート
 - ・3路線から、巡回型と直通型の2路線とする。
 - ※再編案を示す前段の合意形成において地元との意見交換会を実施中である。
 - そのため現段階では、直通型は、乗降量が比較的多い能生青海線の一部、巡回型は、おうみ巡回線の一部を引用した。
 - ・糸魚川駅日本海口までとする。

- 運行便数
 - ・利用状況に応じて減便する。

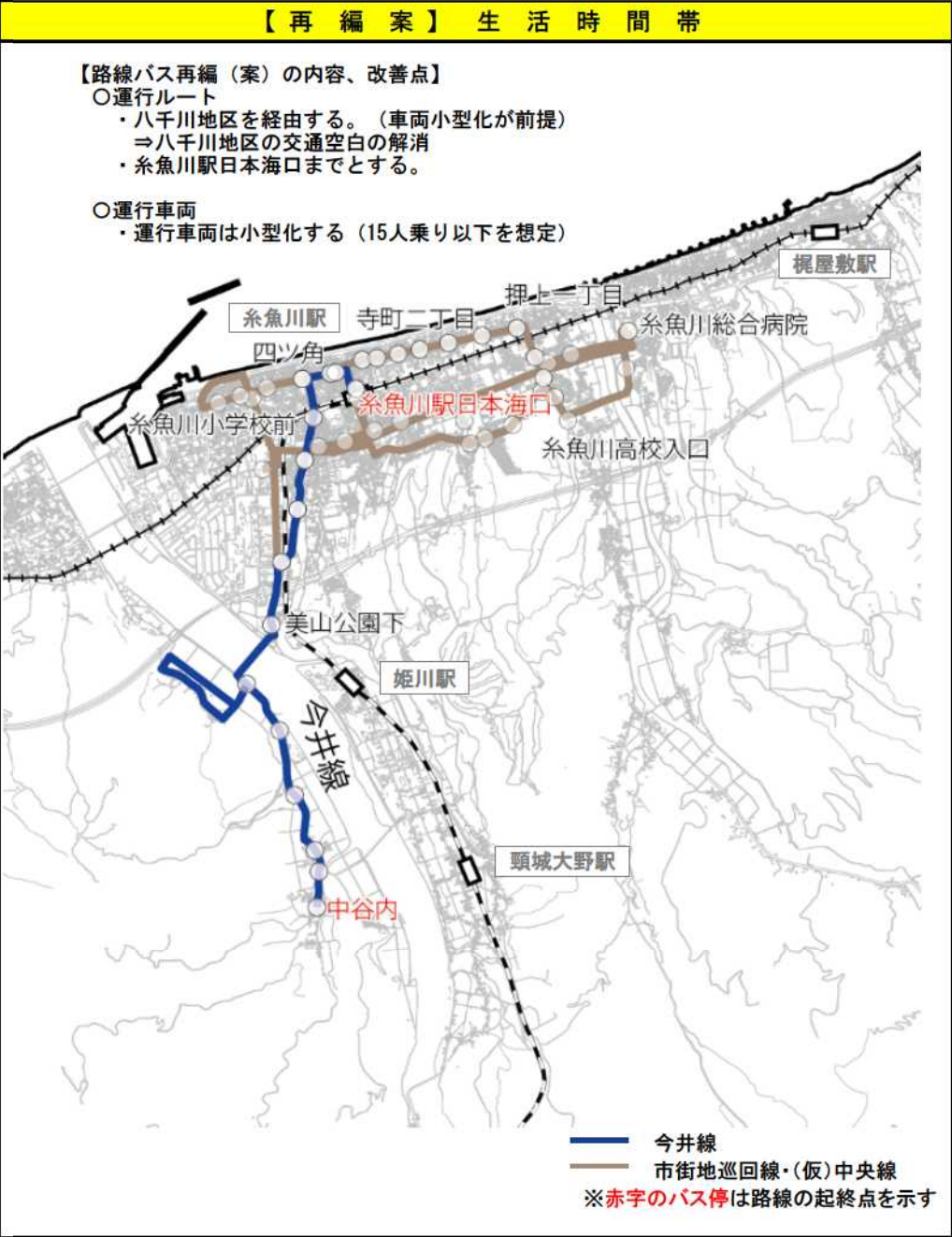
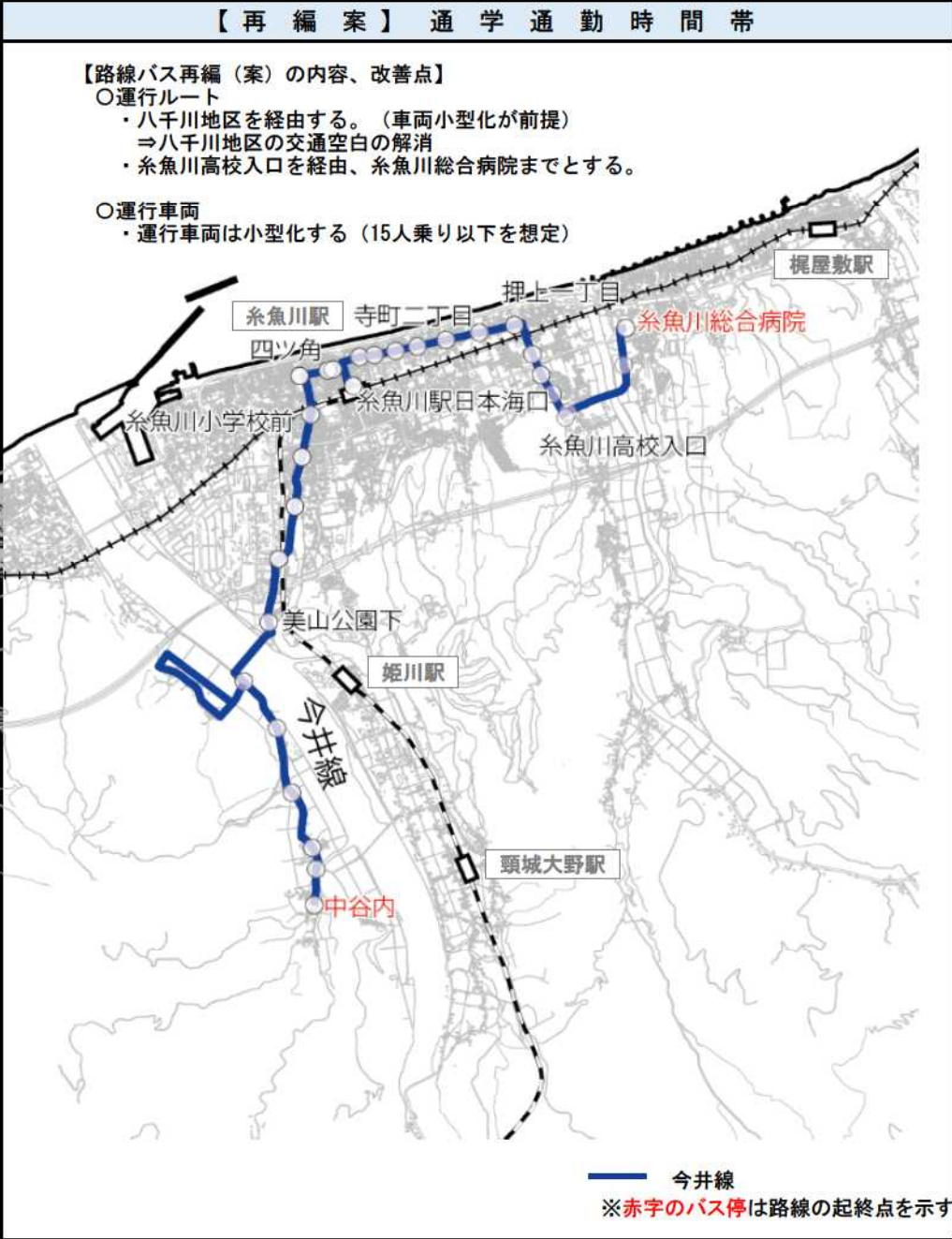


- 直通型路線
 - 巡回型路線
 - 市街地巡回線・(仮)中央線
 - コミュニティバス
- ※赤字のバス停は路線の起終点を示す

4 今井線

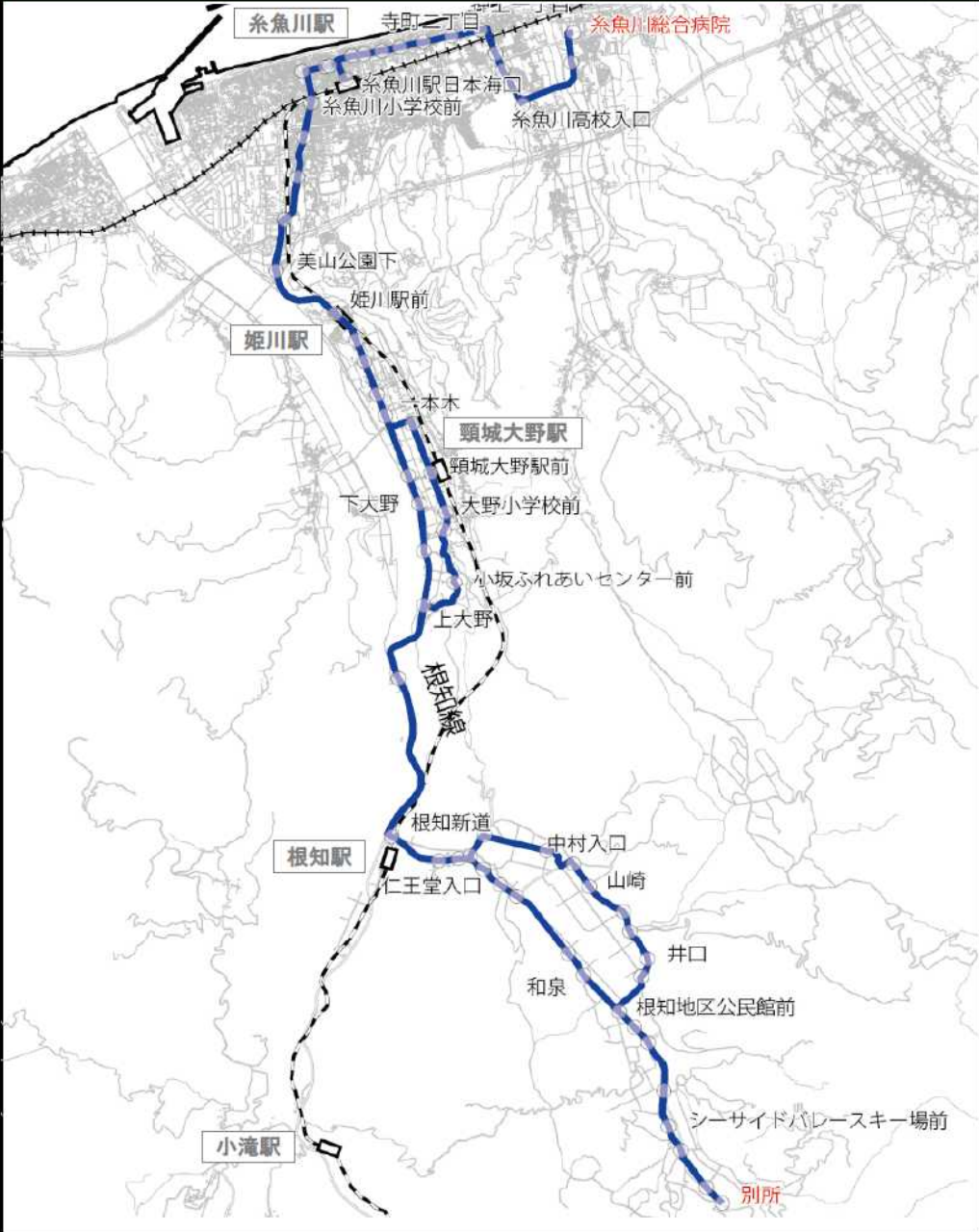


4 今井線



5 根知線

現 況



【現状と課題】

- 28年度概算収支率
 - ・23%と低い。
- 28年度乗降量調査結果
 - ・平日平均の最大値で9.9人と、10.0人を下回っている。中学生の通学利用がほぼないためピークは生活時間帯にある。
 - ・冬期間の日曜日の利用で、糸魚川駅日本海口～シーサイドバレースキー場前を通して10.0人を超える利用がある便が往復2便あり、スキー場へのアクセスとして利用されている。
- 運行ルート
 - ・大糸線根知駅と結節していない。
 - ・経路が複雑で、運行系統が多いためわかりづらく、それぞれの運行系統ごとの運行便数が少ないため使いづらい状況となっている。
 - ・糸魚川高校入口経由の運行系統が生活時間帯のみ運行され、通学時間帯に運行されていない。
- 公共交通
 - ・糸魚川中学校スクールバスが、朝1便、夕2便を貸切バス運行委託により運行されている。最終便は、部活動等の終了時刻に合わせて3種類の季節別運行時刻となっている。

【地区からの意見（抜粋）】

- ・東廻りと西廻りでダイヤの偏りがあり不便を感じているが、これをバランスよくしたとしてもどっちも使いにくいことには変わりはないだろう。
- ・東廻りと西廻りを廃止し、根知地区内は1系統（一筆書き）とする。
- ・根知駅にバスが接続していない。通学を考慮した大糸線ダイヤに接続するバスダイヤが必要。
- ・わかりづらい路線はNG。大野地区内の2つの経路を一本化し、わかりやすくする。
- ・中学生しか乗れないスクールバスは廃止し、中学生以外の利用者も乗り合う。どの便も乗れるようになるので、かえって良い。

◆ 運行便数

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	4	8	2
8:30～13:00	8	4	6
13:00～15:30	4	4	3
15:30～	4	4	3
計	16	16	11

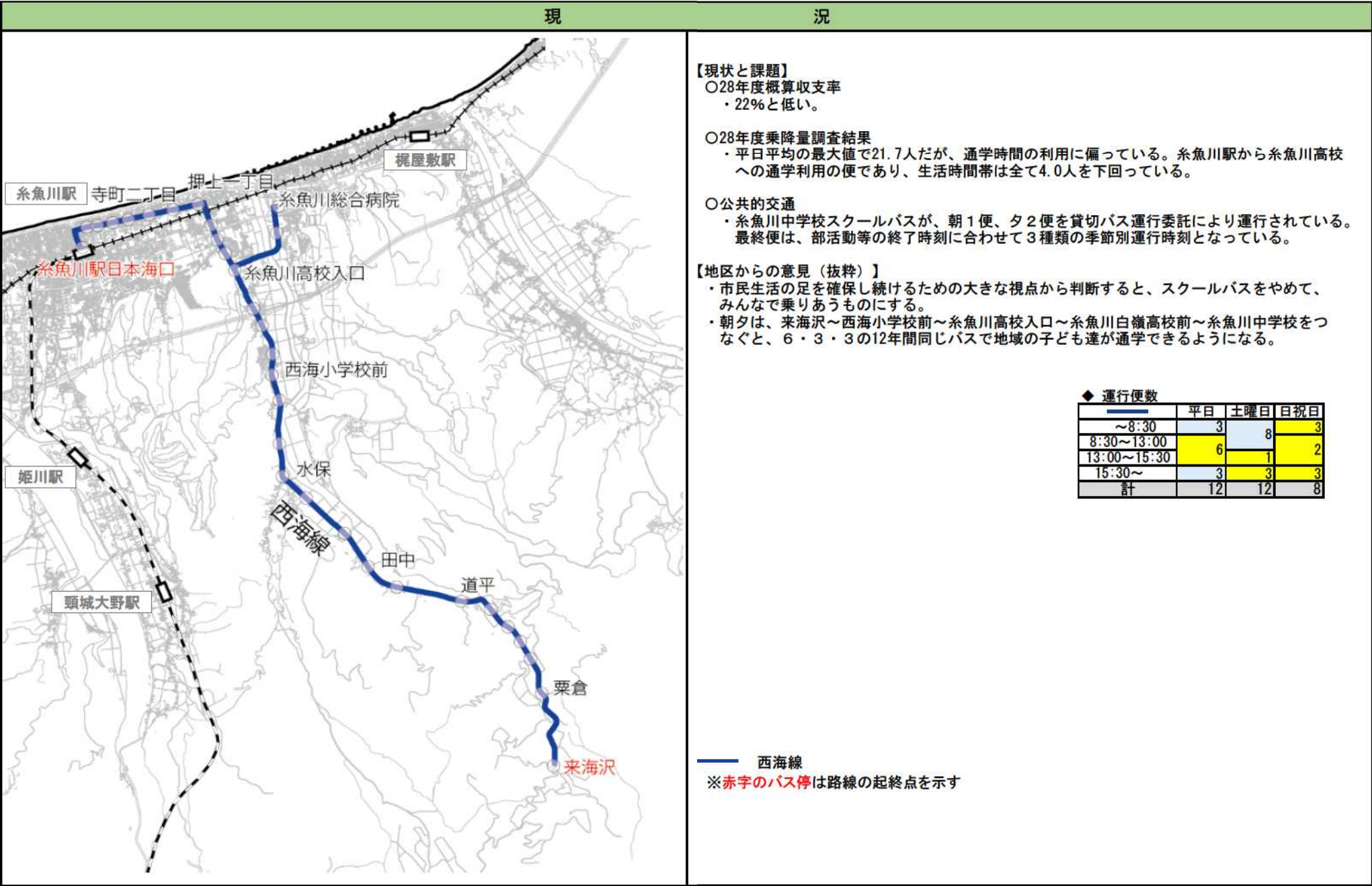
※日曜日の15:30～は、冬期以外は2便である。冬期は、シーサイドバレースキー場からの帰りのニーズに対応したものである。

— 根知線
 ※赤字のバス停は路線の起終点を示す

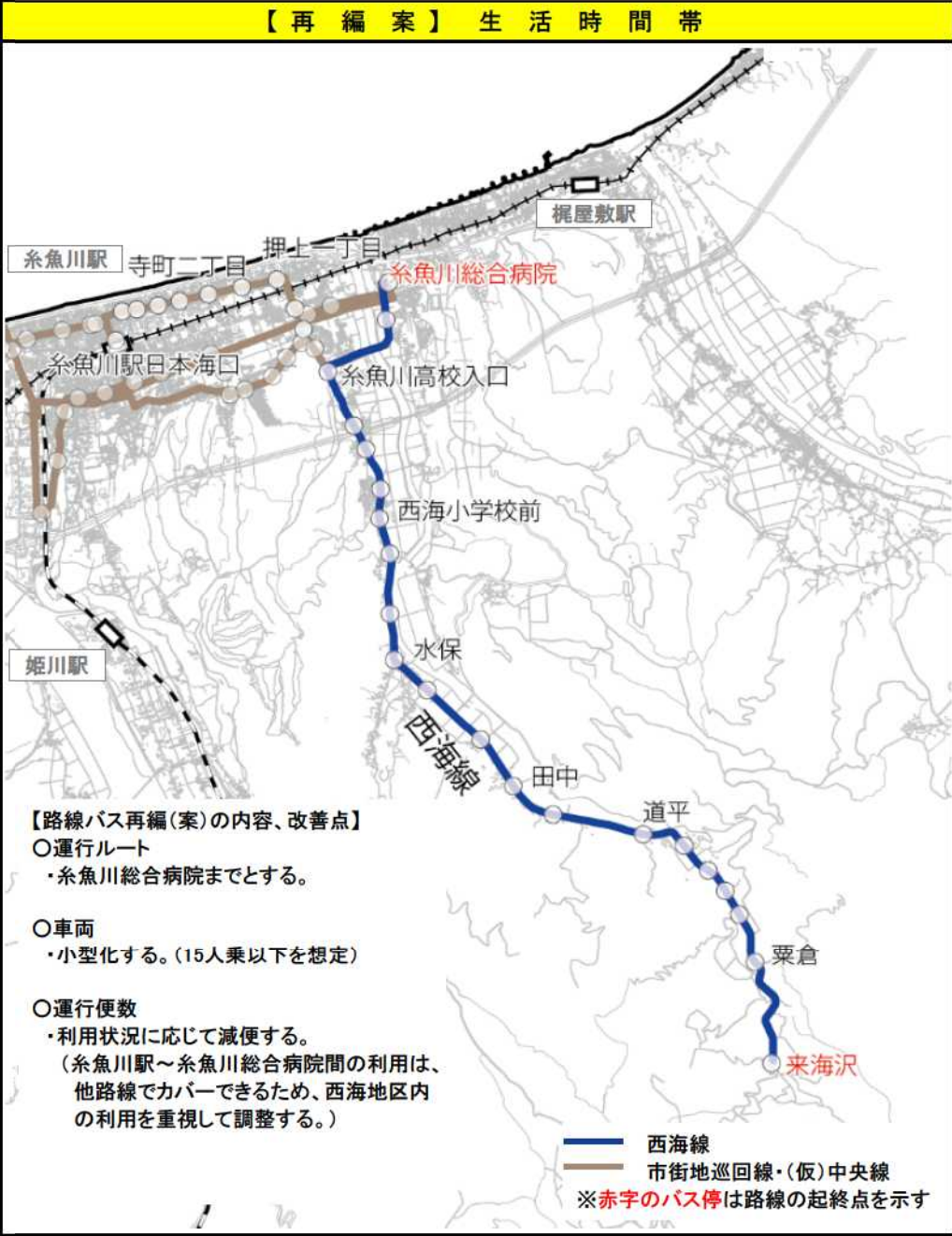
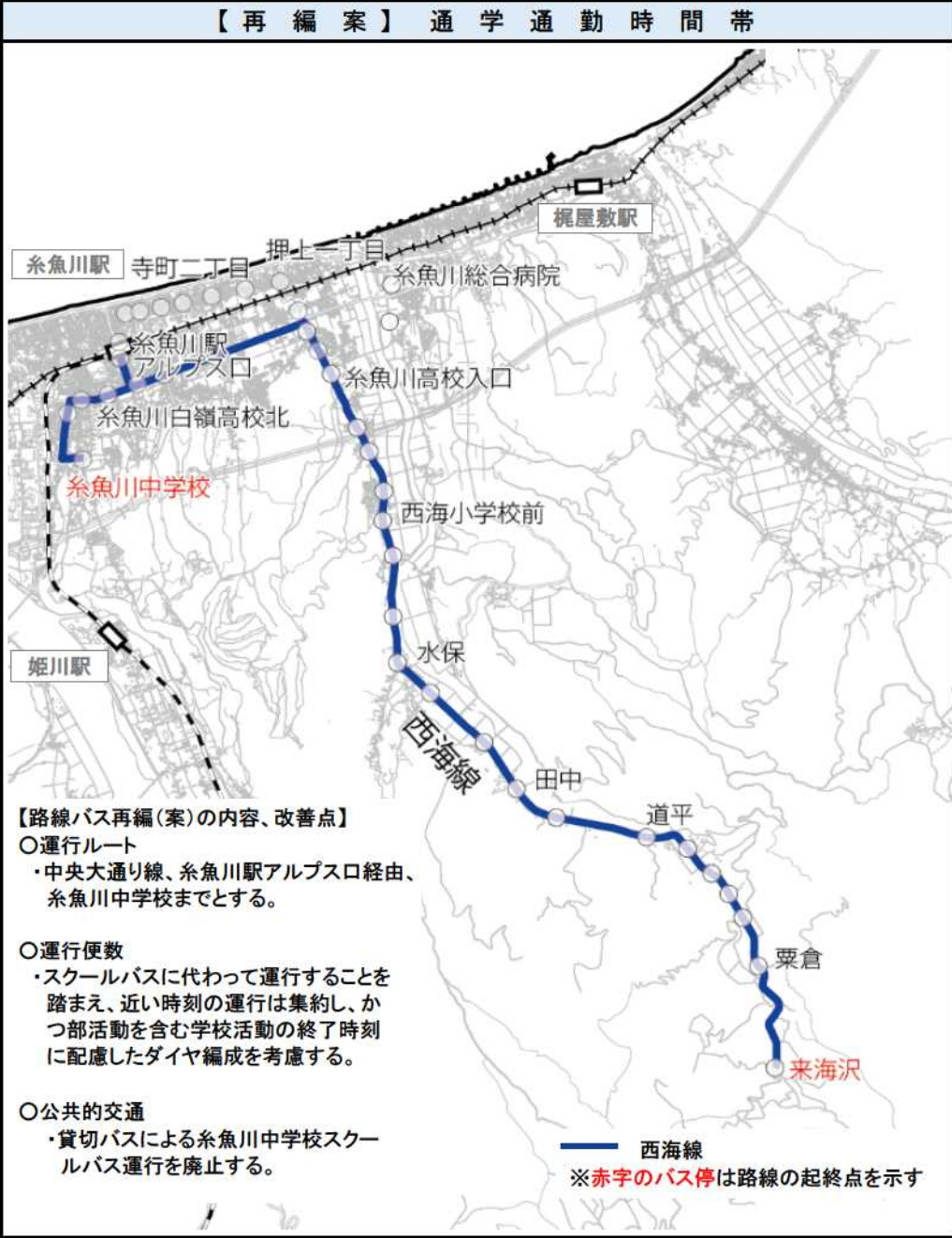
5 根知線



6 西海線

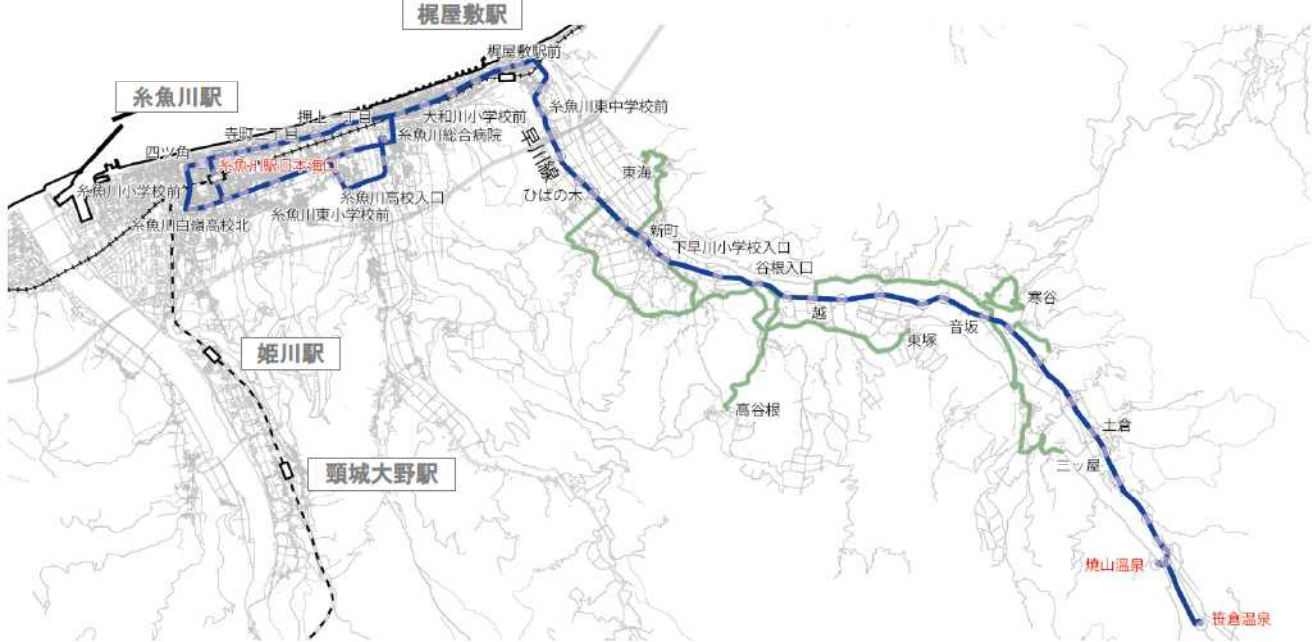


6 西海線



7 早川線

現 況



— 早川線
— 乗合タクシー
 ※赤字のバス停は路線の起終点を示す

【現状と課題】

- 28年度概算収支率
 - ・42%である。
- 28年度乗降量調査結果
 - ・平日平均の最大値で糸魚川駅方面へは41.6人、笹倉・焼山温泉方面へは29.8人と双方向で各1便利用が多い。朝の通学利用である。
 - ・生活時間帯の最大値は、12.5人便から4.4人とバラつきがある。

【地区からの意見（抜粋）】

- ・変わらないと、いつまでも（多額の）税金が投入される。見直ししないとイケない。
- ・地域内の医院、スーパー、糸魚川総合病院への移動手段を確保する。
- ・乗合バスを利用するように生活を合わせる。
- ・昼時間は減便してはどうか。

◆ 運行便数

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	4	10	3
8:30～13:00	10	4	8
13:00～15:30	10	10	5
計	24	24	16

7 早川線

【再編案】通学通勤時間帯



【路線バス再編(案)の内容、改善点】

- 運行ルート
 - ・糸魚川高校入口経由に一本化する。
(朝のみであったため、夕方も糸魚川白嶺高校、糸魚川高校の生徒の利用促進を図る。)

- 運行便数
 - ・基本的に変更なし。
 - ・鉄道通学する高校生の利用を取り込むため、梶屋敷駅での接続に配慮したダイヤ編成を考慮する。

— 早川線
 ※赤字のバス停は路線の起終点を示す

【再編案】生活時間帯



【路線バス再編(案)の内容、改善点】

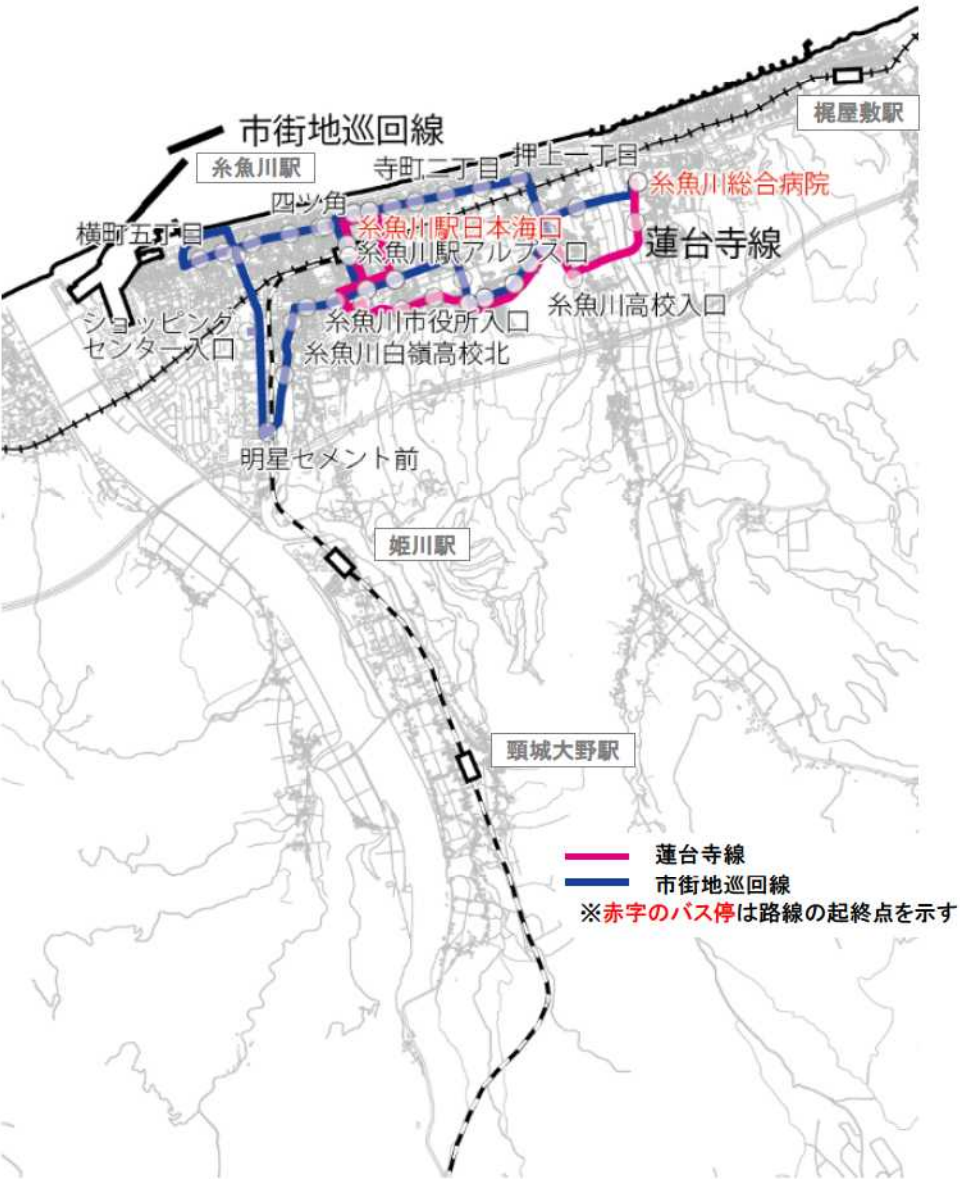
- 運行ルート
 - ・糸魚川総合病院までとする。

- 運行便数
 - ・利用状況に応じて減便する。

— 早川線
 — 市街地巡回線・(仮)中央線
 — 乗合タクシー
 ※赤字のバス停は路線の起終点を示す

8 蓮台寺線、9 市街地巡回線

現 況



【現状と課題】

- 28年度概算収支率
 - ・蓮台寺線が55%で、市街地巡回線が12%と低い。
- 28年度乗降量調査結果
 - ・蓮台寺線の平日平均の最大値は22.6人、次いで18.9人であり、朝の糸魚川高校への通学利用2便が非常に多いが、それ以外の便は1.0人を下回り、その差が大きい。
 - ・市街地巡回線の平日平均の最大値は6.5人であるが、全便全区間の中央値でも2.6人とブレが少ない。
- 運行ルート
 - ・蓮台寺線は糸魚川駅と糸魚川高校入口の2箇所の乗降が主であることから、この路線でなくてはならない必然性が低い。主な利用者である高校生の多くが、運行時刻で選択したものと思われる。
 - ・市街地巡回線は市民や観光客が市街地に訪れた際に、市街地の主要施設をわかりやすく、それらを環状に網羅できるよう設定された路線である。2路線は重複した区間が多い。

【市民からの意見】

- ・市街地巡回線は一周が長く、どこに行くのか分からない。
- ・どこに連れて行かれるのか分からないので、便利かもしれないが、こわくて乗れない。

◆ 運行便数 (平成28年3月26日改正)

蓮台寺線	平日	土曜日	日祝日
～8:30	3	2	1
8:30～13:00	4	2	1
13:00～15:30	2	1	
15:30～	2	1	
計	9	5	2

市街地巡回線	平日	土曜日	日祝日
～8:30		6	
8:30～13:00	7		7
13:00～15:30		1	
15:30～			
計	7	7	7

◆ 参考：運行便数 (平成29年4月1日改正)

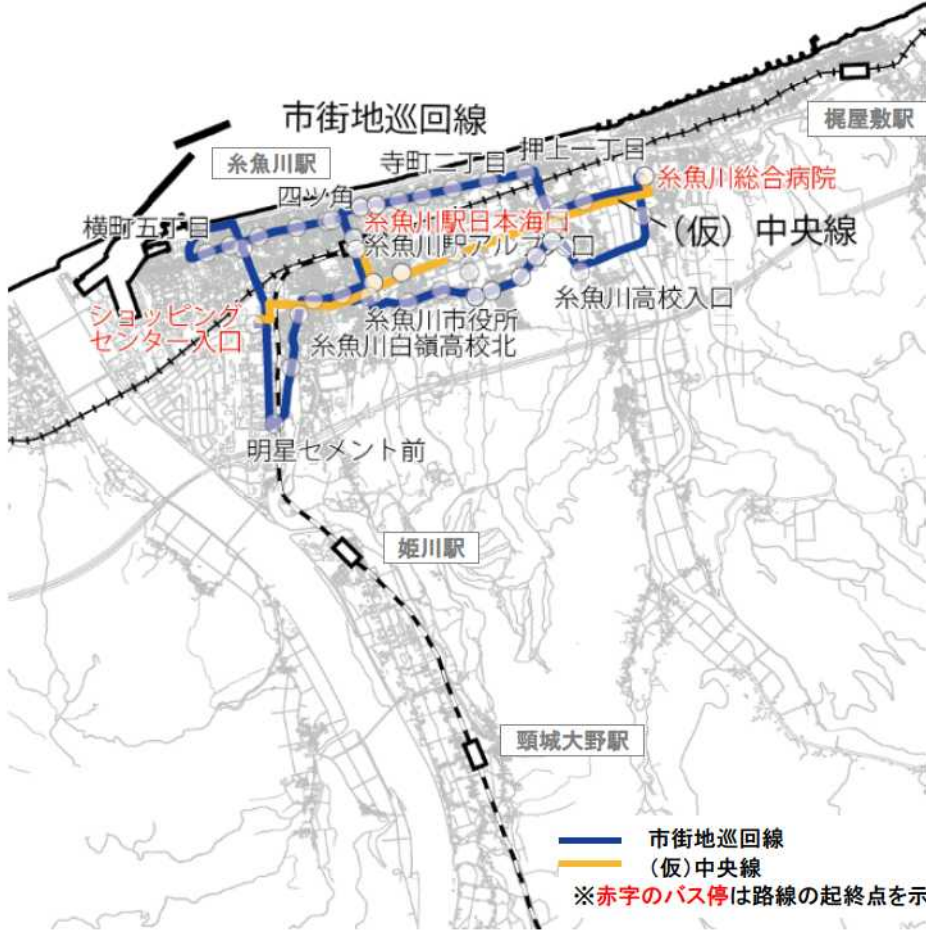
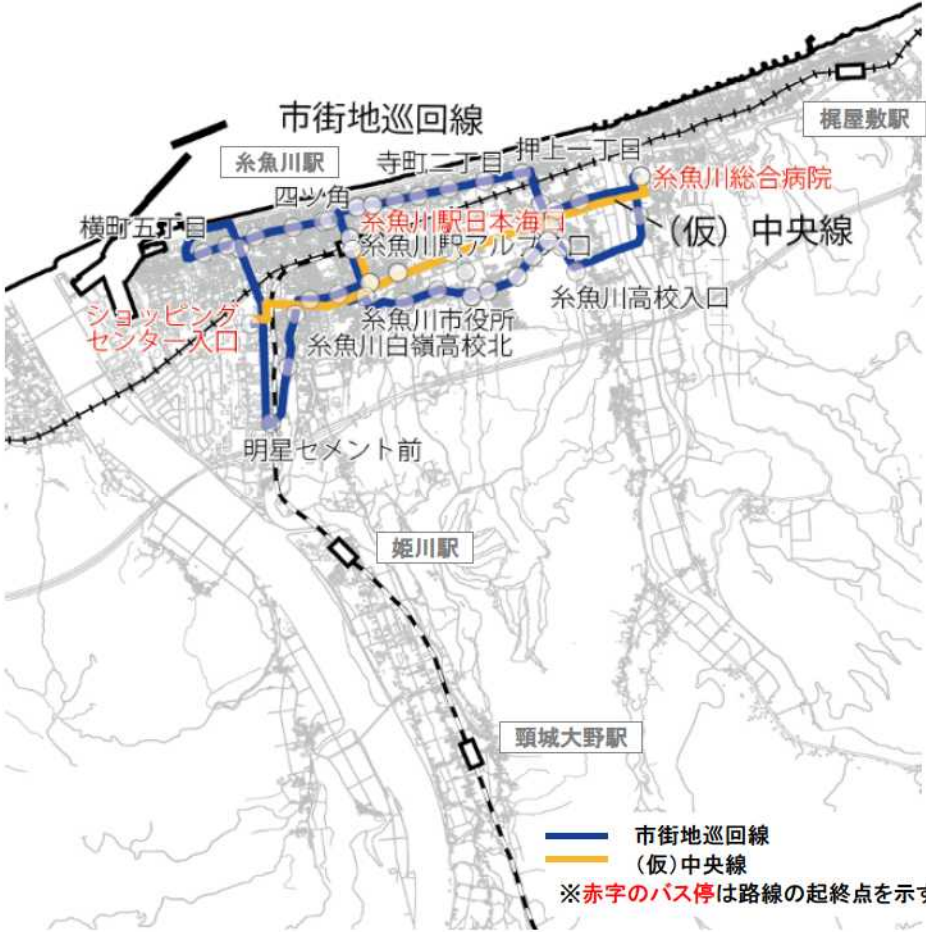
蓮台寺線	平日	土曜日	日祝日
～8:30	2	1	
8:30～13:00	1		1
13:00～15:30	1		
15:30～	1		
計	4	1	1

※青海通り線が蓮台寺線を取り込んだ形に延伸したための減便である。蓮台寺線区間の運行便数は変更なし。

8 蓮台寺線、9 市街地巡回線

【再編案】通学通勤時間帯

【再編案】生活時間帯



【路線バス再編(案)の内容、改善点】(通学通勤時間帯、生活時間帯共通)

○運行ルート

- ・蓮台寺線と市街地巡回線を融合した路線に再編する。(蓮台寺線の廃止)
⇒わかりやすく、バランスの悪いダイヤ編成を解消できる。
- ・乗換拠点(糸魚川駅、糸魚川総合病院)間を最短距離でつなぐ路線を新設する。加えて買い物ニーズに対応するため、糸魚川ショッピングセンターまでとする。(仮)中央線とする。
⇒仮称：中央線を高頻度で運行することにより、乗換による利便性低下を上回る利便性向上を図る。

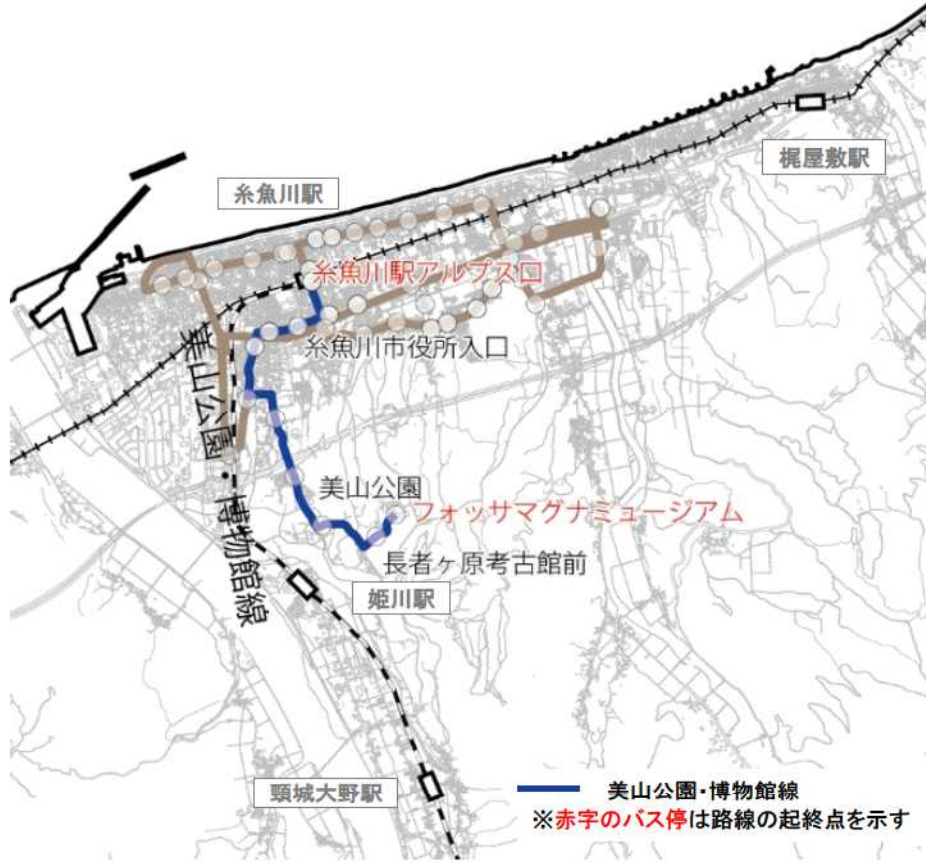
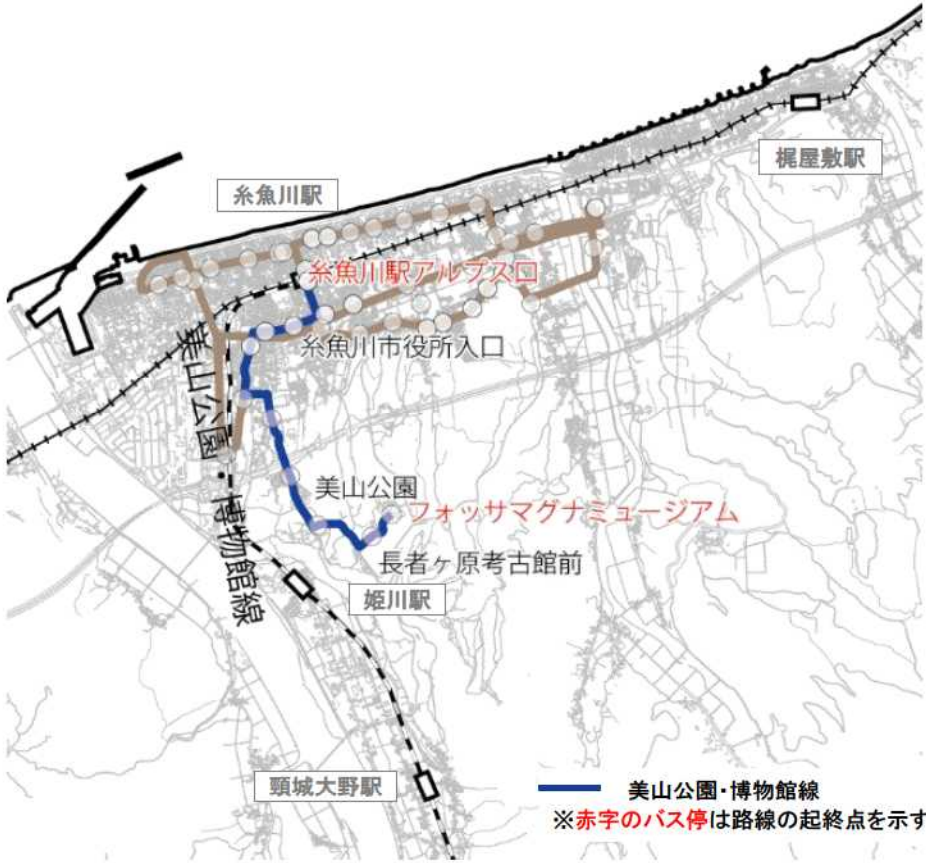
10美山公園・博物館線

現	況																								
<p>美山公園・博物館線 ※赤字のバス停は路線の起終点を示す</p>	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○28年度概算収支率 <ul style="list-style-type: none"> ・6%と最も低い。 ○28年度乗降量調査結果 <ul style="list-style-type: none"> ・平日平均の最大値は3.0人だが、日曜日は4.8人と週末の方が利用が多い。 ○運行ルート <ul style="list-style-type: none"> ・美山（一の宮・上刈・大野の各一部）の生活路線の側面のほか、ジオパーク施策の核施設であるフォッサマグナミュージアムをはじめ文化施設や屋外スポーツ施設等が集積する美山公園への唯一の公共交通アクセスとしても重要な路線と位置付けている。 <p>◆ 運行便数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平日</th> <th>土曜日</th> <th>日祝日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～8:30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8:30～13:00</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>13:00～15:30</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15:30～</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>		平日	土曜日	日祝日	～8:30				8:30～13:00	6	4	6	13:00～15:30		2		15:30～	2	2	2	計	8	8	8
	平日	土曜日	日祝日																						
～8:30																									
8:30～13:00	6	4	6																						
13:00～15:30		2																							
15:30～	2	2	2																						
計	8	8	8																						

10美山公園・博物館線

【再編案】通学通勤時間帯

【再編案】生活時間帯



【路線バス再編(案)の内容、改善点】(通学通勤時間帯、生活時間帯共通)

- 運行路線、ルート
 - ・基本的に変更はなし
- 運行便数
 - ・利用の少ない平日は、利用状況を踏まえて減便を検討する。

11中尾長者温泉線

現	況																																																																								
<p style="text-align: center;"> — 中尾長者温泉線 — 能生青海線 ※赤字のバス停は路線の起終点を示す </p>	<p>【現状の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○28年度概算収支率 <ul style="list-style-type: none"> ・15%と低い。 ○28年度乗降量調査結果 <ul style="list-style-type: none"> ・平日平均の最大値で4.7人であり、他の便は2.0人を下回っている。 ○運行ルート <ul style="list-style-type: none"> ・木浦地区では2路線運行され、木浦バス停で結節するが、接続が良くない。 ○公共的交通 <ul style="list-style-type: none"> ・無料のふれあい送迎が、路線バス運休日（日・祝）に能生駅前～崩山～中尾長者温泉間を運行している。、28年度は、平均で2.3人/便の利用があった。 ・通学時間帯のみ、能生駅前を起終点とする路線バスを、スクールバスとして能生駅前～能生中学校を貸切バス運行委託により延長運行している。 <p>【地区からの意見（抜粋）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・T字型の路線で木浦地区を回ると良い。 ・崩山でUターンするには、大型バスでは不可。小型車両が必要。 ・無料のふれあい送迎の廃止はやむを得ないが、代替交通は必要である。 ・午前中に通院や買い物に使える便がない。 ・能生商店街にある医院までない <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <table border="1" style="margin-top: 20px;"> <caption>◆ 運行便数</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>平日</th> <th>土曜日</th> <th>日祝日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～8:30</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8:30～13:00</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13:00～15:30</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15:30～</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-top: 20px;"> <caption>参考：ふれあい送迎（公共的交通）</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>平日</th> <th>土曜日</th> <th>日祝日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～8:30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8:30～13:00</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>13:00～15:30</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>15:30～</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>参考：能生青海線※木浦地区運行便数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平日</th> <th>土曜日</th> <th>日祝日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～8:30</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>8:30～13:00</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>13:00～15:30</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>15:30～</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> </div>		平日	土曜日	日祝日	～8:30	1	2		8:30～13:00	2	1		13:00～15:30	3	1		15:30～	3	1		計	6	4	0		平日	土曜日	日祝日	～8:30				8:30～13:00			6	13:00～15:30			2	15:30～			0	計	0	0	8		平日	土曜日	日祝日	～8:30	2	6	2	8:30～13:00	7	3	7	13:00～15:30	4	4	4	15:30～	4	4	4	計	13	13	13
	平日	土曜日	日祝日																																																																						
～8:30	1	2																																																																							
8:30～13:00	2	1																																																																							
13:00～15:30	3	1																																																																							
15:30～	3	1																																																																							
計	6	4	0																																																																						
	平日	土曜日	日祝日																																																																						
～8:30																																																																									
8:30～13:00			6																																																																						
13:00～15:30			2																																																																						
15:30～			0																																																																						
計	0	0	8																																																																						
	平日	土曜日	日祝日																																																																						
～8:30	2	6	2																																																																						
8:30～13:00	7	3	7																																																																						
13:00～15:30	4	4	4																																																																						
15:30～	4	4	4																																																																						
計	13	13	13																																																																						

11中尾長者温泉線

【再編案】通学通勤時間帯



—— 中尾長者温泉線
 ※赤字のバス停は路線の起終点を示す

【路線バス再編（案）の内容、改善点】

- 運行ルート
 - ・崩山を含むルートとする。（ふれあい送迎参考）
⇒木浦地区の一体感あるルートができる。
 - ⇒木浦小学校区から能生中学校への通学が1路線で対応可能となる。
 - ・能生駅前～能生中学校前間を路線化する。
- 運行車両
 - ・小型化する。（15人乗以下を想定）
- 公共交通
 - ・貸切バスによる能生中学校スクールバス運行を廃止する。

【再編案】生活時間帯

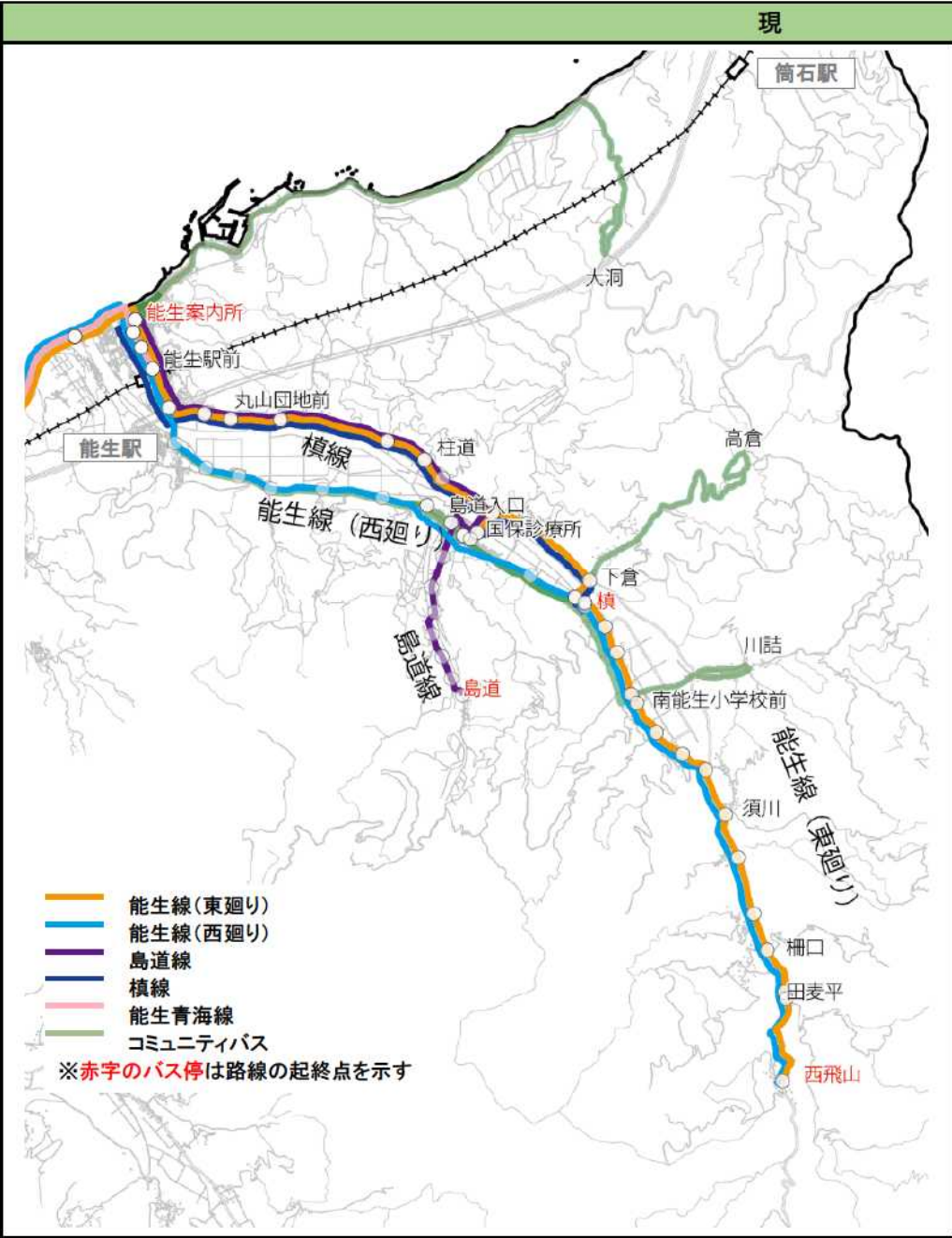


—— 中尾長者温泉線
 ※赤字のバス停は路線の起終点を示す

【路線バス再編（案）の内容、改善点】

- 運行ルート
 - ・崩山を含むルートとする。（ふれあい送迎参考）
⇒木浦地区の一体感あるルートができる。
 - ・車両小型化を生かし、能生商店街及び医療機関を經由する。
⇒能生案内所で他路線と結節することにより、路線バス利用者がバスで行けなかった商業施設・医療機関が集積するエリアに行けるようになる。
- 運行車両
 - ・小型化する。（15人乗以下を想定）
- 運行便数
 - ・通院・買い物の目的にあったダイヤ編成に配慮する。
 - ・日・祝日は、ふれあい送迎廃止に伴う中尾長者温泉へのアクセス確保を検討する。
- 公共交通
 - ・ふれあい送迎は廃止する。

12能生線（東廻り）、13能生線（西廻り）、14島道線、15槇線（1/2）



現 況

【現状と課題】

- 28年度概算収支率
 - ・能生線（東廻り）40%、能生線（西廻り）32%、島道線21%、槇線13%である。
- 28年度乗降量調査結果
 - ・平日平均の最大値で、能生線（東廻り）12.1人、能生線（西廻り）23.1人、島道線16.0人、槇線5.5人である。
 - ・能生線（東廻り、西廻り）、島道線は、朝の各1便が通学・通院利用で多くなっている。
 - ・島道線は、朝の1便以外は4.0人以下で、かつ島道区内では1.0人以下となっている。
- 運行ルート
 - ・能生線（東廻り）と（西廻り）では、西飛山と横町五丁目をつなぐ約30kmの長大ルートをもつ。各2便（計4便）運行している。西飛山方面への2便の運行時刻が近く、効率の悪い運行となっている。
- 【地区からの意見（抜粋）】**
 - ・島道線は、乗り換えてどこへでも行けるなら、まずはそこ（国保診療所）までつないで。
 - ・鉄道とバスの接続が悪い。特に高校生の下校時。
 - ・糸魚川総合病院から帰る便の能生案内所での接続が悪い。
 - ・誰も乗っていない便は減らすべき。
 - ・日中は、通学通勤ほど時間の制約がないので、極端に不便にならないければ再編は任せる。

◆ 運行便数
能生線(東廻り)

	平日	土曜日	日祝日
～8:30			
8:30～13:00		2	
13:00～15:30	2		
15:30～			
計	2	2	0

島道線

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	2	4	
8:30～13:00	2		
13:00～15:30	2	2	
15:30～			
計	6	6	0

能生線(西廻り)

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	4	8	2
8:30～13:00	7	3	6
13:00～15:30	7	7	2
15:30～			
計	18	18	10

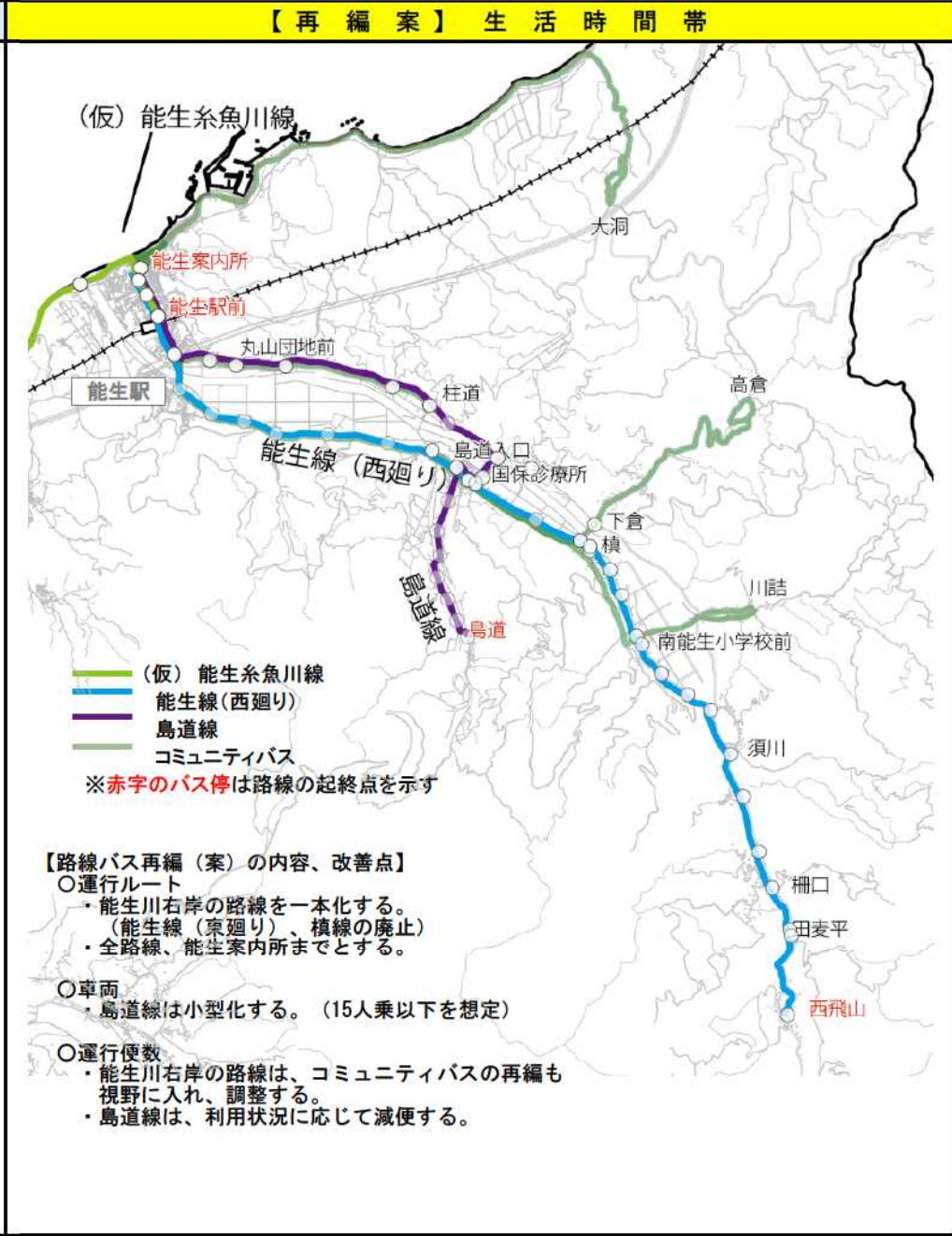
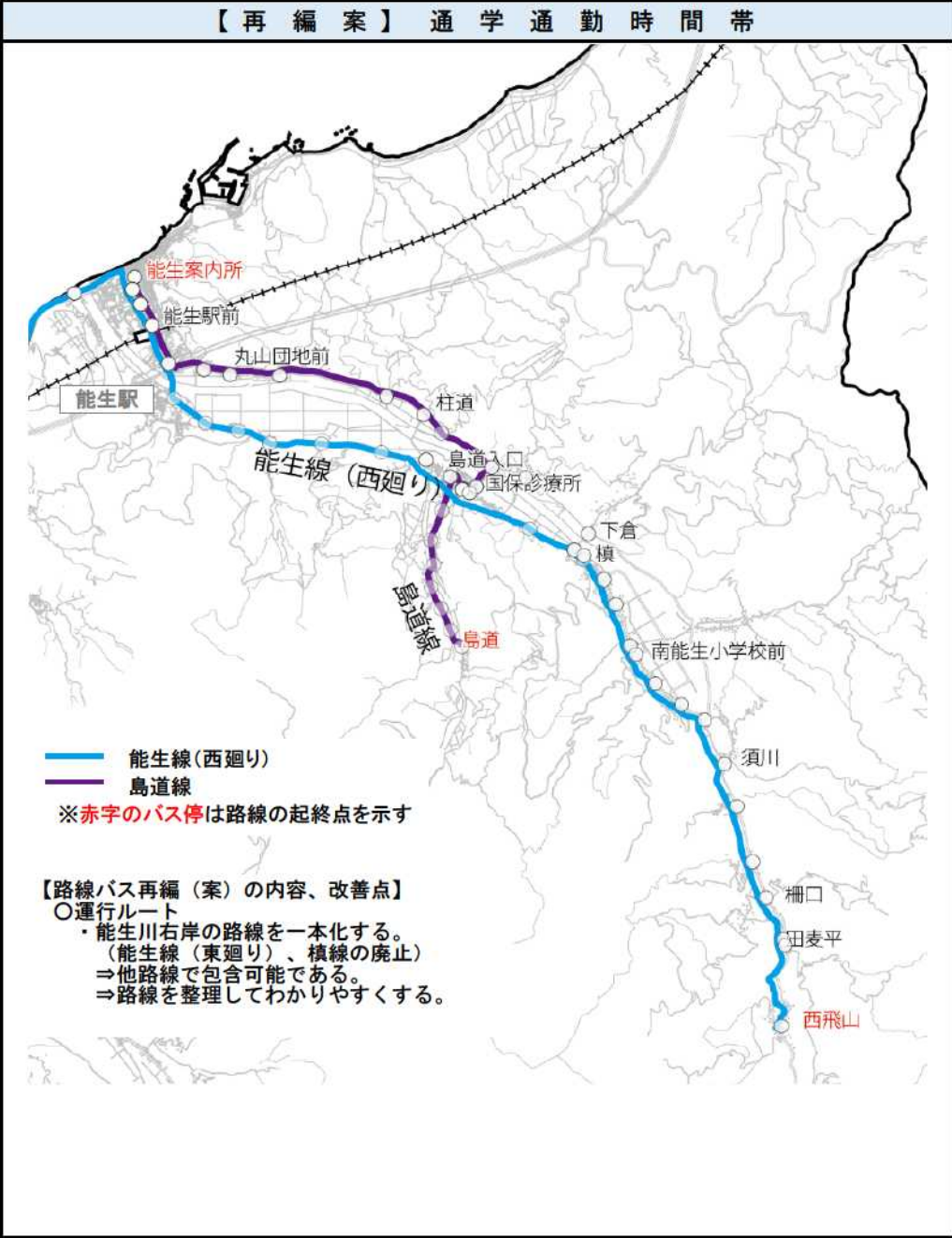
槇線

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	2	1	
8:30～13:00			
13:00～15:30			
15:30～	3	2	
計	5	3	0

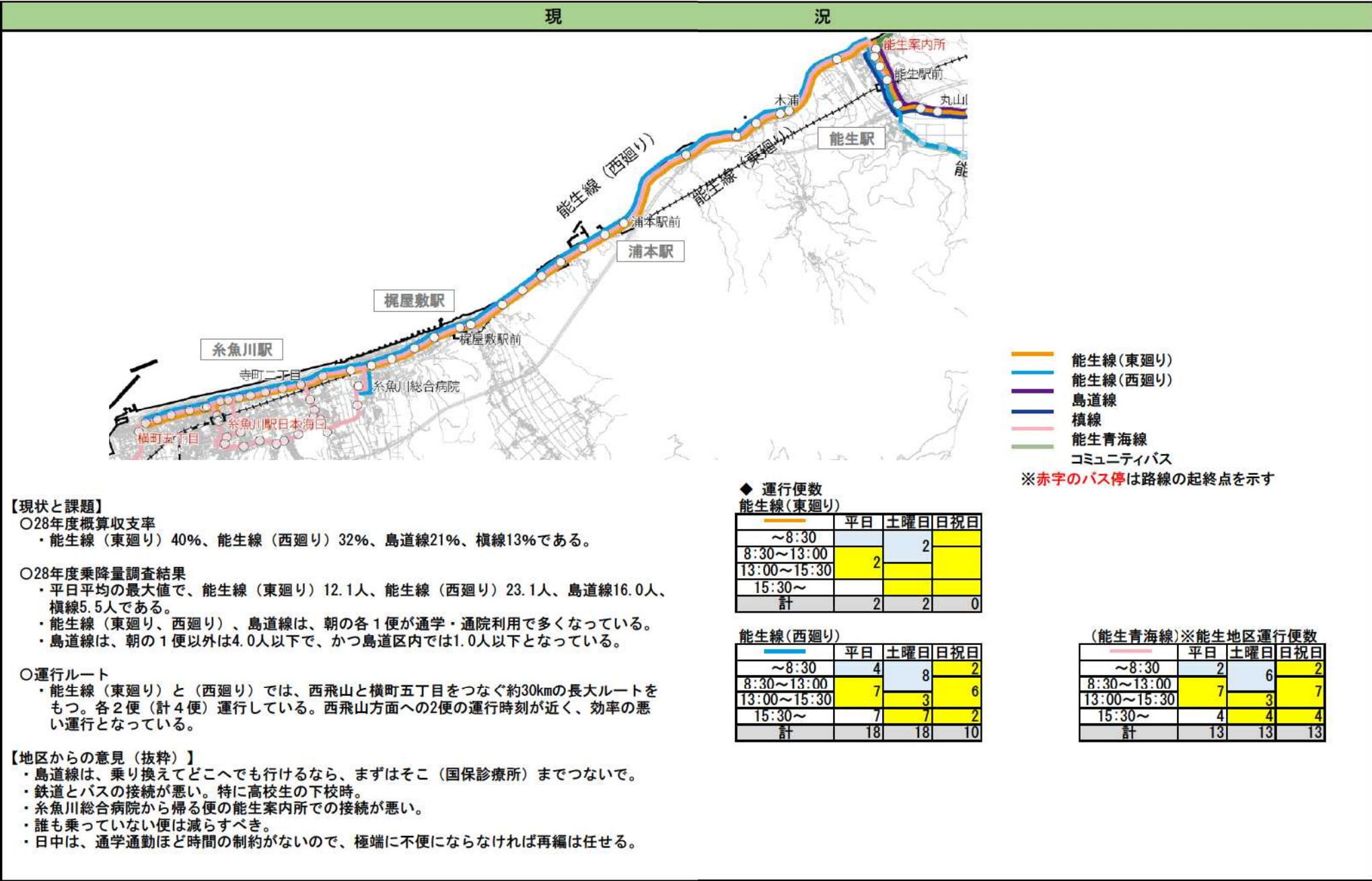
(能生青海線)※能生地区運行便数

	平日	土曜日	日祝日
～8:30	2	6	2
8:30～13:00	7	3	7
13:00～15:30	4	4	4
15:30～			
計	13	13	13

12能生線（東廻り）、13能生線（西廻り）、14島道線、15楨線（1/2）



12能生線（東廻り）、13能生線（西廻り）、14島道線、15楨線（2/2）



12能生線（東廻り）、13能生線（西廻り）、14島道線、15楨線（2/2）

【再編案】通学通勤時間帯

【路線バス再編（案）の内容、改善点】
○運行ルート
・1路線に集約する。（経路は変更なし）



— 能生線（西廻り）
— 島道線
 ※赤字のバス停は路線の起終点を示す

【再編案】生活時間帯

【路線バス再編（案）の内容、改善点】
○運行ルート
・能生案内所までとする。
・能生案内所と糸魚川総合病院をつなぐ路線を新設する。（仮）能生糸魚川線とする。
⇒能生案内所～糸魚川総合病院間の密度を高める。



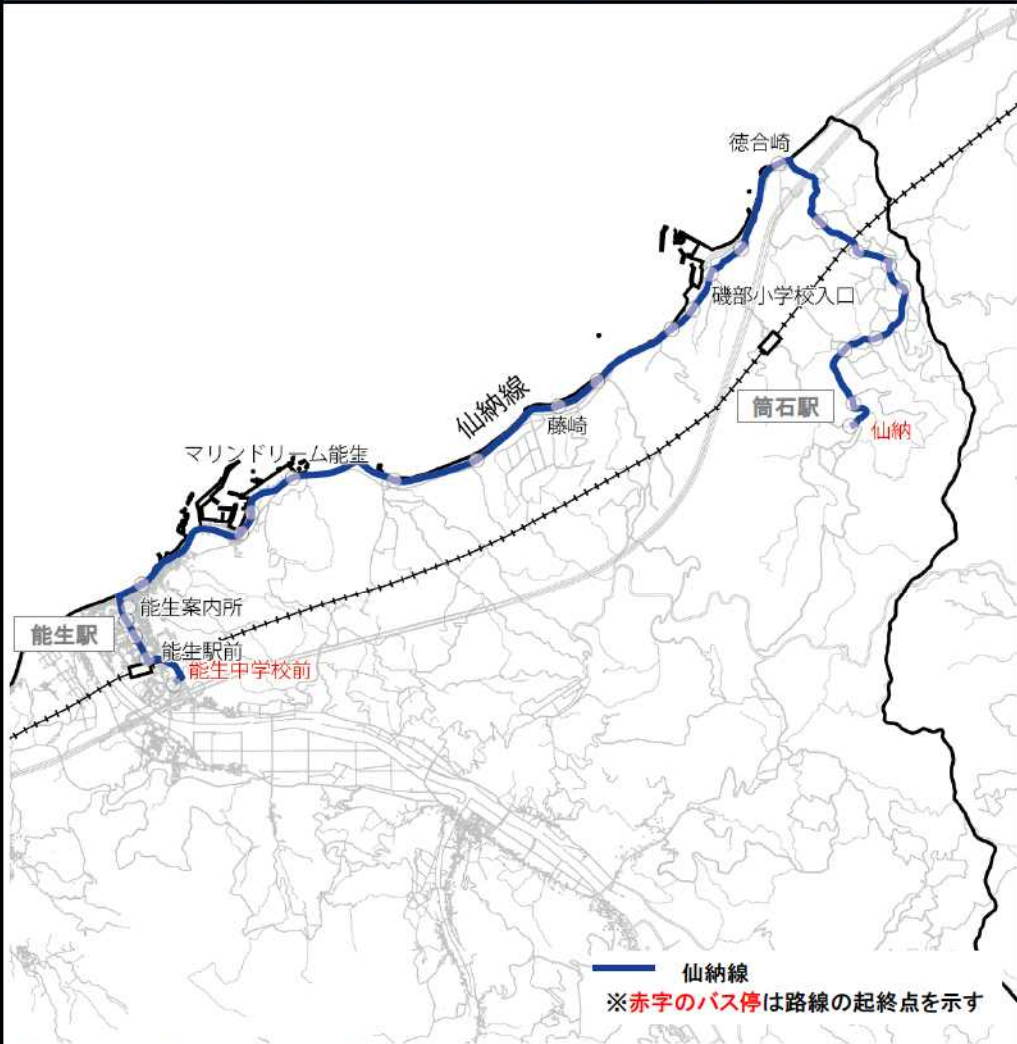
— （仮）能生糸魚川線
— 能生線（西廻り）
— 島道線
— 市街地巡回線・（仮）中央線
— コミュニティバス
 ※赤字のバス停は路線の起終点を示す

16仙納線

現	況																				
 <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> — 仙納線 — コミュニティバス ※ 赤字のバス停は路線の起終点を示す </p>	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○28年度概算収支率 <ul style="list-style-type: none"> ・54%である。 ○28年度乗降量調査結果 <ul style="list-style-type: none"> ・平日平均の最大値で40.4人で、朝の通学利用があるが生活時間帯は10.0人を下回っている。 ○公共交通 <ul style="list-style-type: none"> ・能生中学校スクールバスが、貸切バス運行委託により運行されている。4～10月の部活動終了時刻に路線バスが運行していないため1便運行しているものと、能生駅前を起終点とする路線バスを、スクールバスとして能生駅前～能生中学校を貸切バス運行委託により延長運行している。 <p>【地区からの意見（抜粋）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7時台の通学便の次に能生市街地に向かう便が11時台までなく、通院等に困る。 ・今とやり方を変える（再編する）べき。 ・路線バスは、開業医もある商店街を通らない。通院する際はタクシーがいる能生駅まで行き、数人でタクシーに乗り合わせて行っている。コミュニティバス大洞線は直接行ける。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p>◆ 運行便数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #e0e0e0;"> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 15%;">平日</th> <th style="width: 15%;">土曜日</th> <th style="width: 15%;">日祝日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～8:30</td> <td>1</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8:30～13:00</td> <td>5</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13:00～15:30</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr style="background-color: #e0e0e0;"> <td>計</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> </div>		平日	土曜日	日祝日	～8:30	1	4		8:30～13:00	5	2		13:00～15:30	4	4		計	10	10	0
	平日	土曜日	日祝日																		
～8:30	1	4																			
8:30～13:00	5	2																			
13:00～15:30	4	4																			
計	10	10	0																		

16仙納線

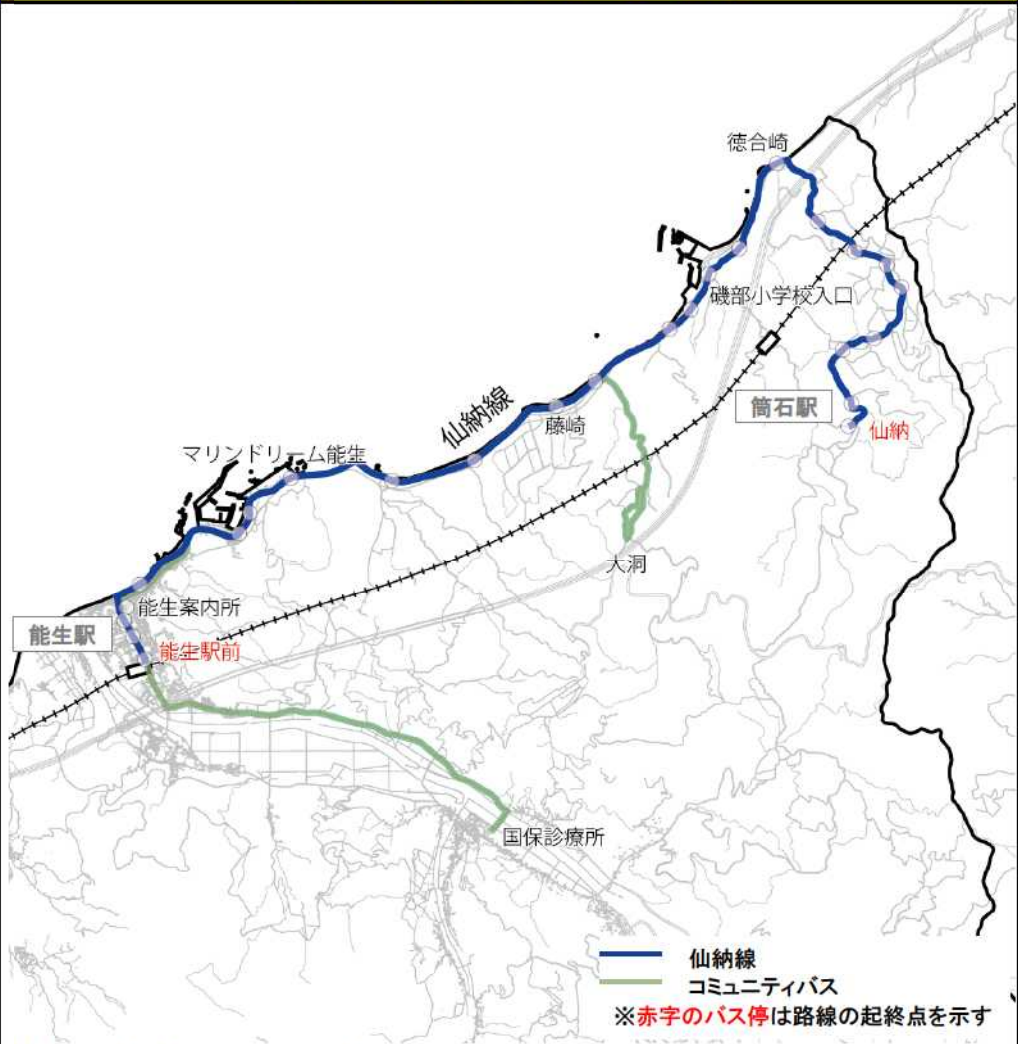
【再編案】通学通勤時間帯



【路線バス再編（案）の内容、改善点】

- 運行ルート
 - ・能生駅前～能生中学校前間を路線化する。
- 公共交通
 - ・貸切バスによる能生中学校スクールバス運行を廃止する。
(4～10月の下校の1便は、季節別ダイヤも視野に入れ、代替便を確保する。)

【再編案】生活時間帯



【路線バス再編（案）の内容、改善点】

- 運行ルート
 - ・基本的に変更なし。
 - ・ただし、車両小型化が可能な場合は、それにより通過が可能となるニーズにあった経路変更を検討する。(能生商店街など)
- 運行便数
 - ・基本的に変更なし。
 - ・通院・買い物の目的にあったダイヤ編成に配慮する。